

## 8 教育職員免許状の取得について

### 1 教育職員免許状の書類と資格

教育職員となるためには、学士の学位を有し、かつ、教育職員免許法（以下「免許法」という。）に定められている所定の単位を修得し、希望する教科の免許状を取得しなければならない。

本学部が免許状授与の所要資格の認定を受けているものは、文学部細則第18条のとおりである。

なお、中学校の普通免許の取得を希望する場合は、さらに特別支援学校で2日間、社会福祉施設などの施設で5日間、合計7日以上介護等体験が必要となる。介護等の体験の事前指導、受講資格、実施時期、実施内容、実施場所等については、別途通知する。

免許状	種類	教科
普通免許状	中学校教諭一種免許状	国語，社会，英語，ドイツ語，フランス語
	高等学校教諭一種免許状	国語，地理歴史，公民，英語，ドイツ語，フランス語

### 2 免許法上の単位修得方法について

(1) 教養教育科目（教育職員免許法施行規則第66条の6関係）

次の表により、免許法上で必要な単位を修得すること。

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左に対応する開設授業科目		
科目	単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	日本国憲法	2	
体育	2	健康スポーツ科学		2
		スポーツ実習A		1
		スポーツ実習B		1
		スポーツ演習		1
外国語コミュニケーション※	2	コミュニケーションⅠA		1
		コミュニケーションⅠB		1
		コミュニケーションⅡA		1
		コミュニケーションⅡB		1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報・データ科学入門	2	

※外国語コミュニケーションは2科目選択すること。

(2) 専門教育科目（教育職員免許法施行規則第4条及び第5条関係）

次の表により、免許状の種類ごとに、免許法上で必要な単位を修得すること。

種類	教科及び教職に関する科目
中学校教諭一種免許状	59
高等学校教諭一種免許状	59

1) 教科及び教職に関する科目

① 中学校教諭一種免許状

区分			該当授業科目	単位数	本学要件 単位数	必要修得 単位数
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目 ※1	教科に関する専門的事項			30	28
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)				
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育の思想と原理	2	11	10
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○教職入門	2		
		教育に関する社会的,制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○教育と社会・制度	2		
		幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○児童・青年期発達論	2		
		特別の支援を必要とする幼児, 児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	1		
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○教育課程論	2		
第四欄	道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	○道徳教育指導法	2	11	10
		総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	1		
		特別活動の指導法	○特別活動指導法	2		
		教育方法及び技術	○教育方法・技術論及び情報活用教育論	2		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	2		
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	○教育相談	2		
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	○教育実習指導C	1	5	5
			○中・高等学校教育実習 I (9月と10月実施・各2週間)	4		
		教職実践演習	○教職実践演習(中・高)	2	2	2
第六欄	大学が独自に設定する科目 ※2				(4)	4
介護等体験 (特別支援学校2日間, 社会福祉施設5日間)					必要	必要
				合計	59	59

※1 「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位の修得方法は、別表1～7に示す。

※2 「大学が独自に設定する科目」の単位は、第二～五欄の必要修得単位数を超過した科目のうちから4単位分を振り替えるものとする。

②高等学校教諭一種免許状

区分		該当授業科目	単位数	本学要件 単位数	必要修得 単位数	
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目 ※1	教科に関する専門的事項		34	24	
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)				
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育の思想と原理	2	11	10
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○教職入門	2		
		教育に関する社会的,制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○教育と社会・制度	2		
		幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○児童・青年期発達論	2		
		特別の支援を必要とする幼児, 児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	1		
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○教育課程論	2		
第四欄	道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	1	9	8
		特別活動の指導法	○特別活動指導法	2		
		教育方法及び技術	○教育方法・技術論及び情報活用教育論	2		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	2		
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	○教育相談	2		
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	○教育実習指導C	1	3	3
			○中・高等学校教育実習Ⅱ(6月実施・2週間)	2		
		教職実践演習	○教職実践演習(中・高)	2	2	2
第六欄	大学が独自に設定する科目 ※2	道徳教育指導法		(12)	12	
			合計	59	59	

※1 「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位の修得方法は、別表1～7に示す。

※2 「大学が独自に設定する科目」の単位数は、道徳教育指導法又は第二～五欄の必要修得単位数を超過した科目のうちから12単位数を振り替えるものとする。

2) 教科及び教科の指導法に関する科目

別表1:国語

中学校教諭一種免許状			高等学校教諭一種免許状					
区分	該当授業科目	開設学部	区分	該当授業科目	開設学部			
教科に関する専門的事項	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○ 日本語学概説	教科に関する専門的事項	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○ 日本語学概説			
		日本語学演習 I			日本語学演習 I			
		日本語学研究法			日本語学研究法			
	国文学(国文学史を含む。)	○ 古代中世文学概説		文学部	国文学(国文学史を含む。)	○ 古代中世文学概説		
		古代中世文学研究法				古代中世文学研究法		
		○ 近世文学概説				○ 近世文学概説		
		近世文学研究法				近世文学研究法		
		○ 近代文学概説				○ 近代文学概説		
		近代文学研究法				近代文学研究法		
		○ 現代文学概説				○ 現代文学概説		
	現代文学研究法	現代文学研究法						
	漢文学	○ 中国文学史			文学部	漢文学	○ 中国文学史	
		○ 漢文基礎					○ 漢文基礎	
		中国 古代中世漢語講読					中国 古代中世漢語講読	
		中国語学演習A					中国語学演習A	
		中国語学演習B					中国語学演習B	
		中国語史					中国語史	
		中国 中世文学演習A					中国 中世文学演習A	
		中国 中世文学演習B					中国 中世文学演習B	
		中国 古典散文演習					中国 古典散文演習	
		中国 古典韻文演習					中国 古典韻文演習	
		諸子学文献A					諸子学文献A	
		諸子学文献B					諸子学文献B	
		中国 古代中世思想文献演習A					中国 古代中世思想文献演習A	
		中国 古代中世思想文献演習B					中国 古代中世思想文献演習B	
		中国 古代中世思想文献演習C					中国 古代中世思想文献演習C	
		中国 古代中世思想文献演習D					中国 古代中世思想文献演習D	
		中国 近世思想文献演習A					中国 近世思想文献演習A	
		中国 近世思想文献演習B					中国 近世思想文献演習B	
		中国 近世思想文献演習C					中国 近世思想文献演習C	
		中国 近世思想文献演習D					中国 近世思想文献演習D	
	書道(書写を中心とする。)	○ 基礎書道						
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	● 国語教育学概論 I			教育学部	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	● 国語教育学概論 I	教育学部
		● 国語教育学概論 II					● 国語教育学概論 II	
● 国語科教育方法論		国語科教育方法論						
国語科教材研究演習		国語科教材研究演習						
● 国語科学習開発論		国語科学習開発論						
<b>本学要件単位数</b>	<b>30</b>		<b>本学要件単位数</b>	<b>34</b>				

備考

- 印は一般的包括的科目を示し、各区分から1科目以上選択必修すること。
- 「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」は、中学校教諭一種免許状では8単位以上、高等学校教諭一種免許状4単位以上修得すること。●印は必修科目。



別表3:地理歴史

高等学校一種免許状										
区分	該当授業科目	開設学部	区分	該当授業科目	開設学部					
教科に関する専門的事項	日本史・外国史 日本史	文学部	教科に関する専門的事項	○ 日本文化システム史論A	文学部					
				○ 日本文化システム史論B						
				○ 日本社会システム史論A						
				○ 日本社会システム史論B						
				日本古代研究A						
				日本古代研究B						
				日本中世研究A						
				日本中世研究B						
				日本中世研究C						
				日本中世研究D						
				日本近世研究A						
				日本近世研究B						
				日本近世研究C						
				日本近世研究D						
				日本近代研究A						
				日本近代研究B						
				日本近代研究C						
				日本近代研究D						
				日本考古学研究A						
				日本考古学研究B						
				日本考古学研究C						
				日本考古学研究D						
				考古学基礎論A						
				考古学基礎論B						
				考古学概説						
				総合文化財学基礎研究						
				総合文化財学応用研究						
				文化財保存学研究						
				城郭研究						
				社寺建築学研究						
				日本住宅史研究						
				日本美術史学基礎研究						
				日本美術史学応用研究						
				東洋美術史学基礎研究						
				東洋美術史学応用研究						
				日本工芸史学基礎研究						
				日本工芸史学応用研究						
				各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		● 地理歴史科教育論	教育学部	人文地理学・自然地理学	○ アジア海域システム研究A(東洋史)	文学部
						社会系(地理歴史)がキュラムデザイン論			○ アジア海域システム研究B(東洋史)	
						社会系(地理歴史)教科指導法			○ 異文化交流史研究(西洋史)	
				本学要件単位数					東アジア地域システム研究A	
									東アジア地域システム研究B	
									東南アジア地域システム研究A	
									東南アジア地域システム研究B	
									中国経済史研究A	
				中国経済史研究B						
				アジア社会史研究A						
				アジア社会史研究B						
				地中海地域システム研究						
				ヨーロッパ海域システム研究						
				大西洋地域システム研究						
				地中海文化論研究						
				地中海社会史研究						
				地中海交流史研究						
				比較考古学演習A						
				比較考古学演習B						
				アジア考古学研究A						
				アジア考古学研究B						
				東洋工芸史学基礎研究						
				東洋工芸史学応用研究						
			人文地理学	○ 地理学概論A						
				○ 人文地理学概論						
				国土空間論(地理学)						
				社会経済地域論(地理学)						
			自然地理学	○ 地理学概論B						
				○ 自然地理学概論						
				地表変動論						
			地誌	○ 地域学A(地誌学)						
				○ 地域学B(地誌学)						
本学要件単位数			34							

備考

- 印は一般的包括的科目を示し、各区分から1科目以上選択必修すること
- 「日本史・外国史」は、「日本史」「外国史」各項目の○印科目から1科目以上選択必修すること
- 「人文地理学・自然地理学」は、「人文地理学」「自然地理学」各項目の○印科目から1科目以上選択すること
- 「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」は4単位以上修得すること。●印は必修科目。

別表4:公民

高等学校一種免許状						
区分	該当授業科目	開設学部	区分	該当授業科目	開設学部	
教科に関する専門的事項	「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	○ 法学概説	教育学部	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	中国哲学思想文献演習A	文学部
		○ 現代法政策論	総合科学部		中国哲学思想文献演習B	
		宗教政治社会論			中国哲学思想文献演習C	
		平和学	文学部		中国哲学思想文献演習D	
		中国政治史研究A			倫理学入門	
		中国政治史研究B			生命倫理	
	ヨーロッパ政治社会史研究	英米倫理学講義				
	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	○ 社会学方法論	総合科学部		倫理学特講	
		○ 環境経済論			倫理思想史基礎演習A	
		○ 社会生態人類学			倫理思想史基礎演習B	
		○ 経済学概説	教育学部		倫理思想史基礎演習C	
		ミクロ経済学入門	教養教育		倫理思想史基礎演習D	
		マクロ経済学入門	経済学部		応用倫理学演習A	
		国際経済学1			応用倫理学演習B	
		国際経済学2			応用倫理学演習C	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	○ 哲学概論 I	文学部		応用倫理学演習D	
		○ 哲学概論 II			インド哲学・仏教学入門	
		○ 日本倫理思想講義			サンスクリット語入門	
		○ ドイツ倫理学講義			インド哲学概説	
		○ 仏教学概説			サンスクリット語基礎演習	
		西洋哲学入門			インド哲学・仏教学基礎演習A	
		哲学史基礎演習(ギリシア語)			インド哲学・仏教学基礎演習B	
		哲学史基礎演習(ラテン語)			チベット語入門	
		西洋古代哲学史			インド哲学・仏教学演習A	
		西洋中世哲学史			インド哲学・仏教学演習B	
		西洋近世哲学史			インド哲学・仏教学演習C	
		西洋古代中世哲学研究			インド哲学・仏教学演習D	
		西洋近現代哲学研究A			インド思想基礎文献演習A	
		西洋近現代哲学研究B			インド思想基礎文献演習B	
		論理学			仏教思想基礎文献演習A	
		科学哲学・科学思想史			仏教思想基礎文献演習B	
		古代哲学史基礎演習			インド思想文献演習A	
		中世哲学史基礎演習			インド思想文献演習B	
		近世哲学基礎演習			インド思想文献演習C	
		西洋古代中世哲学演習 I			インド思想文献演習D	
		西洋古代中世哲学演習 II			仏教思想文献演習A	
西洋近世哲学演習A		仏教思想文献演習B				
西洋近世哲学演習B		仏教思想文献演習C				
西洋近世哲学演習C		仏教思想文献演習D				
西洋近世哲学演習D		知覚・認知心理学				
西洋近現代哲学演習A		対人心理学		教育学部		
西洋近現代哲学演習B						
中国思想史概説						
中国学術思想史						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	● 公民科教育論	教育学部				
	社会系(公民)カリキュラムデザイン論					
	社会系(公民)教科指導法					
<b>本学要件単位数</b>	<b>34</b>					

備考

1 ○印は一般的包括的科目を示し, 各区分から1科目以上選択必修すること。

2 「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」は4単位以上修得すること。●印は必修科目。

別表5: 外国語(英語)

中学校教諭一種免許状			高等学校教諭一種免許状																		
区分	該当授業科目	開設学部	区分	該当授業科目	開設学部																
教科に関する専門的事項	英語学	○ 英語学概論 ○ 英文法 ○ 英語文体論 英語音韻論 近代英語演習A 近代英語演習B 英語史 中期英語演習	英語学	○ 英語学概論 ○ 英文法 ○ 英語文体論 英語音韻論 近代英語演習A 近代英語演習B 英語史 中期英語演習	開設学部																
						英語文学	○ イギリス文学史講義A ○ アメリカ文学史講義 ○ 英語圏文学講義 イギリス文学史講義B イギリス小説文学演習A イギリス小説文学演習B 英語圏文学演習 エスニック文学講義 現代アメリカ文学演習 アメリカ詩文学演習A アメリカ詩文学演習B アメリカ文学演習 イギリス詩文学演習A イギリス詩文学演習B	英語文学	○ イギリス文学史講義A ○ アメリカ文学史講義 ○ 英語圏文学講義 イギリス文学史講義B イギリス小説文学演習A イギリス小説文学演習B 英語圏文学演習 エスニック文学講義 現代アメリカ文学演習 アメリカ詩文学演習A アメリカ詩文学演習B アメリカ文学演習 イギリス詩文学演習A イギリス詩文学演習B	文学部											
											英語コミュニケーション	○ 英語表現演習 I (英作文) ○ 英語表現演習 II (クリエイティブ・ライティング) ○ 英語表現 I (英会話) 英語表現 II (英会話)	英語コミュニケーション	○ 英語表現演習 I (英作文) ○ 英語表現演習 II (クリエイティブ・ライティング) ○ 英語表現 I (英会話) 英語表現 II (英会話)	開設学部						
																異文化理解	○ 比較文化A	異文化理解	○ 比較文化A		
																各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	● 英語教育学概論 I ● 英語教育学概論 II 英語教育方法論 英語教育カリキュラム論 英語教材構成論 英語教育評価論	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	● 英語教育学概論 I ● 英語教育学概論 II 英語教育方法論 英語教育カリキュラム論 英語教材構成論 英語教育評価論	教育学部	
																					本学要件単位数

備考

- 印は一般的包括的科目を示し、各区分から1科目以上選択必修すること
- 「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」は、中学校教諭一種免許状では8単位以上、高等学校教諭一種免許状4単位以上修得すること。●印は必修科目。



別表6:外国語(ドイツ語)

中学校教諭一種免許状			高等学校教諭一種免許状			
区分	該当授業科目	開設学部	区分	該当授業科目	開設学部	
教科に関する専門的事項	ドイツ語学	文学部	ドイツ語学	○ドイツ語学講義A	文学部	
				○ドイツ近現代語学演習A		
				○ドイツ近現代語学演習B		
				ドイツ語学講義B		
	ドイツ文学	文学部	教科に関する専門的事項	ドイツ文学	○ドイツ文学講義	文学部
					○ドイツ文学史A	
					○ドイツ文学史B	
					○ドイツ文学基礎演習A	
					○ドイツ文学基礎演習B	
					ドイツ文学語学入門	
					ドイツ短編演習A	
					ドイツ短編演習B	
					ドイツ近現代文学演習A	
					ドイツ近現代文学演習B	
					ドイツ文学理論演習	
					ドイツ語圏文学語学発展演習A	
	ドイツ語圏文学語学発展演習B					
	ドイツ語コミュニケーション	文学部	教科に関する専門的事項	ドイツ語コミュニケーション	○ドイツ語会話基礎演習A	文学部
					○ドイツ語会話基礎演習B	
					○ドイツ語圏言語文化演習A	
○ドイツ語圏言語文化演習B						
○ドイツ語学発展演習C						
ドイツ語学発展演習D						
異文化理解	○比較文化B					
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	文学部	教科に関する専門的事項	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	●ドイツ語教育学概論	文学部	
				●ドイツ語科教育法		
				●ドイツ語科教育方法論		
				●ドイツ語科教材論		
<b>本学要件単位数</b>	<b>30</b>		<b>本学要件単位数</b>	<b>34</b>		

備考

- 印は一般的包括的科目を示し、各区分から1科目以上選択必修すること。
- 「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」は、中学校教諭一種免許状では8単位以上、高等学校教諭一種免許状4単位以上修得すること。●印は必修科目。

別表7:外国語(フランス語)

中学校教諭一種免許状				高等学校教諭一種免許状			
区分		該当授業科目	開設学部	区分		該当授業科目	開設学部
教科に関する専門的事項	フランス語学	○ フランス語学特別演習A	文学部	フランス語学	○ フランス語学特別演習A	文学部	
		○ フランス語学特別演習B			○ フランス語学特別演習B		
		○ フランス語中級文法A			○ フランス語中級文法A		
		○ フランス語中級文法B			○ フランス語中級文法B		
		フランス語学講義A			フランス語学講義A		
		フランス語学講義B			フランス語学講義B		
		現代フランス語学研究			現代フランス語学研究		
		現代フランス語学研究演習			現代フランス語学研究演習		
	フランス文学	○ フランス文学史A	文学部	フランス文学	○ フランス文学史A	文学部	
		○ フランス文学史B			○ フランス文学史B		
		○ フランス文学史C			○ フランス文学史C		
		フランス文学講義A			フランス文学講義A		
		フランス文学講義B			フランス文学講義B		
		現代フランス文学序説A			現代フランス文学序説A		
		現代フランス文学序説B			現代フランス文学序説B		
		現代フランス文学序説C			現代フランス文学序説C		
		フランス文学基礎演習Ⅰ			フランス文学基礎演習Ⅰ		
		フランス文学基礎演習Ⅱ			フランス文学基礎演習Ⅱ		
		近代フランス文学演習A			近代フランス文学演習A		
		近代フランス文学演習B			近代フランス文学演習B		
20世紀フランス文学演習A		20世紀フランス文学演習A					
20世紀フランス文学演習B		20世紀フランス文学演習B					
フランス文化論演習A		フランス文化論演習A					
フランス文化論演習B		フランス文化論演習B					
日仏比較文化論演習A	日仏比較文化論演習A						
日仏比較文化論演習B	日仏比較文化論演習B						
現代フランス文学演習A	現代フランス文学演習A						
現代フランス文学演習B	現代フランス文学演習B						
フランス語コミュニケーション	○ フランス語会話A	文学部	フランス語コミュニケーション	○ フランス語会話A	文学部		
	○ フランス語会話B			○ フランス語会話B			
	○ フランス語コミュニケーションA			○ フランス語コミュニケーションA			
	○ フランス語コミュニケーションB			○ フランス語コミュニケーションB			
	フランス語作文A			フランス語作文A			
	フランス語作文B			フランス語作文B			
異文化理解	○ 比較文化C	異文化理解	○ 比較文化C				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	● フランス語教育学概論	文学部	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	● フランス語教育学概論	文学部		
	● フランス語科教育法			● フランス語科教育法			
	● フランス語科教材論			フランス語科教材論			
	● フランス語教育論			フランス語教育論			
<b>本学要件単位数</b>	<b>30</b>	<b>本学要件単位数</b>	<b>34</b>				

備考

1 ○印は一般的包括的科目を示し、各区分から1科目以上選択必修

2 「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」は、中学校教諭一種免許状では8単位以上、高等学校教諭一種免許状4単位以上修得すること。●印は必修科目。

## 教員免許取得にあたっての留意事項

### 1. 取得予定教員免許状登録(取得希望免許調査)

1年生の10月頃に取得希望の学校種(中・高校)と教科名を調査し登録します。免許取得を迷っている学生も登録しておいてください。登録しておかないと4年生の「教職実践演習」が受けられなくなり、教員免許を取得できません。

### 2. 介護等体験履修要領(中学校免許取得希望者のみ)

中学校の免許を取得する学生は、介護等の体験が義務づけられています。2年生に特別支援学校において2日間、社会福祉施設等において5日間、計7日間の体験を行うこととなります。体験終了後にそれぞれの証明書が発行され、免許状申請時に添付します。

#### 【介護等体験実施スケジュール】

- 1年生 10月頃 介護等体験希望調査
- 2年生 4月 介護等体験事前指導(春季休業中)
- 2年生 4月下旬 介護等体験申込
- 2年生 5月～12月 特別支援学校で実習
- 2年生 8月～翌年1月 社会福祉施設等で実習

(注)2年生の介護等体験を受けないと3年生の教育実習Ⅰの受講資格がありません。

### 3. 教育実習履修要領

- ★ 教育実習(事前指導含む)は、事前の説明会、オリエンテーション等に参加しておかなければ受講できません。  
最初の実習は、受講前年度の1月に例年実施されます。必ずMyもみじや人文社会科学系支援室(文学事務室)の掲示板等を確認し出席してください。
- ★ 説明会、オリエンテーション、実習のすべてにおいて、無断の遅刻・欠席等は認められません(即実習停止もあり得ます)。やむを得ない理由がある場合は、必ず事前に人文社会科学系支援室(文学事務室)に連絡すること。教育実習科目は出席、遅刻、学習態度、レポート提出などが厳格に評価される点に十分留意しておくこと。
- ★ 教育実習科目は出席、遅刻、学習態度、レポート提出などが厳格に評価される点に十分留意しておくこと。

#### (1)教育実習指導C(事前指導)

受講前年度1月下旬頃開催の説明会に参加し、調査票を提出すること。調査票の提出が履修登録の手続となる(自分では登録できない)。

授業科目	開設期	単位	対象学生	授業内容
教育実習指導C	4	1	中学校及び高等学校教諭免許状取得希望者	講義及び演習
	6		高等学校教諭免許状取得希望者	

## (2)教育実習(本実習)

授業科目	開設期	単位	対象学生	実習施設
中・高等学校教育実習Ⅰ	6 (9・10月)	4	中学校及び高等学校教諭免許状取得希望者	附属の中学校・高等学校
中・高等学校教育実習Ⅱ	7 (6月)	2	高等学校教諭免許状取得希望者	

## (3)教育実習(本実習)の受講資格

### ①中・高等学校教育実習Ⅰ(4単位, 中学校及び高等学校教諭免許状を取得する場合)

次の受講資格を満たすこと。また、実習前年度1月下旬頃開催の説明会に出席し、調査票を提出すること。

- 1) 教育実習指導B(他学部生は教育実習指導C)の単位を修得していること。
- 2) 介護等体験を終了していること。
- 3) 2年生後期終了時点で中学校教諭一種免許状取得に必要な科目のうち、次の単位を修得していること。ただし、本学で用意している「単位互換」が可能な留学制度により留学した者は、「3年生前期終了時点」とする(該当する学生は、必ず留学前に申し出ること)。

教科及び教科の指導法に関する科目	「教科に関する専門的事項」	10単位以上
	「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」	4単位以上
教育の基礎的理解に関する科目 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の思想と原理、教職入門、教育と社会・制度、特別活動指導法、教育方法・技術論及び情報活用教育論、生徒・進路指導論のうち	8単位以上

### ②中・高等学校教育実習Ⅱ(2単位, 高等学校教諭免許状のみ取得する場合)

次の受講資格を満たすこと。また、実習前年度1月下旬頃開催の説明会に出席し、調査票を提出すること。

- 1) 教育実習指導B(他学部生は教育実習指導C)の単位を修得していること。
- 2) 3年生後期終了時点で高等学校教諭一種免許状取得に必要な科目のうち、次の単位を修得していること。

教科及び教科の指導法に関する科目	「教科に関する専門的事項」	10単位以上
	「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」	4単位以上
教育の基礎的理解に関する科目 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の思想と原理、教職入門、教育と社会・制度、児童・青年期発達論、特別支援教育、教育課程論、総合的な学習の時間の指導法、特別活動指導法、教育方法・技術論及び情報活用教育論、生徒・進路指導論のうち	14単位以上

#### 4. 免許状授与の申請手続

免許法第5条第1項の規定により、免許状の授与を願い出る者は、人文社会科学系支援室（文学事務室）で一括申請する。また、4年次の10月頃に所定の用紙を交付するので、次に掲げる書類等を期限までに提出すること（掲示に注意しておくこと）。

提出書類

1. 教育職員免許状授与申請書等（所定の用紙）－申請する免許状1種類につき1式
2. 学力に関する証明書（学生支援室で作成）
3. 免許状申請手数料3,400円納入（申請する免許状1種類につき）

※令和5年4月現在の金額

提出先 人文社会科学系支援室（文学事務室）

提出期日 10月下旬

なお、提出が遅れた場合など、卒業後に免許状の授与を申請するものは、個人で各都道府県教育委員会に提出する方法もあります。

# 教職実践演習及び教員免許ポートフォリオについて

## <教職実践演習について>

「教育職員免許法施行規則」の一部改正により、平成 22 年度入学生から「教職実践演習」（4 年生後期の授業）が新設されました。この授業は、教員免許状を取得するにあたり必要な知識技能などを習得していることを確認する授業です。それには、そうした知識技能などの習得状況を示すための証拠や振り返るための資料を残しておく必要があります。文部科学省は、“履修カルテ”を作成することを求めています。この“履修カルテ”に対応するものを、広島大学では『教員免許ポートフォリオ』と呼んでいます。

## <教員免許ポートフォリオについて>

教員免許ポートフォリオには、教員免許状を取得する者として必要な知識技能などを習得していることを示す証拠や資料を、広島大学教員養成スタンダードの各規準に対応させて蓄積します。蓄積した証拠や資料は振り返りや教職実践演習の際に活用するほか、適切な時期に教員によって各規準の評価材として利用され、到達レベルが判定されます。

## <教職実践演習までの流れ>

教職実践演習は、教員免許状を取得する際の必修科目です。教職実践演習を履修する場合、教員免許状の取得を希望する校種・教科のうち、主免許状として教育実習を受講する校種・教科に応じて、指定された証拠・資料を教員免許ポートフォリオに蓄積していく必要があります。校種・教科によっては1セメスターから蓄積しなければならない証拠・資料もあります。教員免許状の取得を希望する人は、授業内での指示や「My もみじ」等の連絡を見落とさないよう注意し、いつ、何を必要があるのかを把握するよう努めてください。分からないことがあれば、チューター、または下記の問い合わせ先まで連絡してください。

### 【例】教職実践演習（中・高）を履修するまでの流れ図



### 問い合わせ先

問い合わせ内容	担当窓口	電話番号	E-mail アドレス
教職実践演習に関する事	教育学系総括支援室 (学士課程担当)	082-424-6725	kyoiku-gakusi@office.hiroshima-u.ac.jp
教員免許ポートフォリオに関する事	教育推進グループ (教員免許ポートフォリオ担当)	082-424-4683	e-port@office.hiroshima-u.ac.jp